

第5回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会議事録																									
開催日時	令和6年5月14日(火) 午前10時～午後12時10分																								
開催場所	北とぴあ 16階 1601会議室																								
出席者	<p>・委員(敬称略)【18名出席】</p> <table border="0"> <tr> <td><学識経験者></td> <td><地元関係諸団体></td> </tr> <tr> <td>会長 村山 顕人</td> <td>石井 清貴</td> </tr> <tr> <td>副会長 山口 勝巳</td> <td>石井 勇介</td> </tr> <tr> <td>副会長 斎藤 博</td> <td>石澤 隆二</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日笠山 葵</td> </tr> <tr> <td><関連事業者></td> <td>織戸 龍也</td> </tr> <tr> <td>大森 正基</td> <td>河奈 正道</td> </tr> <tr> <td></td> <td>久保田 明雄</td> </tr> <tr> <td><北区関係職員></td> <td>葉山 相也</td> </tr> <tr> <td>藤野 浩史</td> <td>丸野 由美子</td> </tr> <tr> <td>雲出 直子</td> <td>森岡 謙二</td> </tr> <tr> <td>倉林 巧</td> <td>山本 倫行</td> </tr> </table> <p>・事務局 拠点まちづくり担当部拠点まちづくり担当課</p>	<学識経験者>	<地元関係諸団体>	会長 村山 顕人	石井 清貴	副会長 山口 勝巳	石井 勇介	副会長 斎藤 博	石澤 隆二		日笠山 葵	<関連事業者>	織戸 龍也	大森 正基	河奈 正道		久保田 明雄	<北区関係職員>	葉山 相也	藤野 浩史	丸野 由美子	雲出 直子	森岡 謙二	倉林 巧	山本 倫行
<学識経験者>	<地元関係諸団体>																								
会長 村山 顕人	石井 清貴																								
副会長 山口 勝巳	石井 勇介																								
副会長 斎藤 博	石澤 隆二																								
	日笠山 葵																								
<関連事業者>	織戸 龍也																								
大森 正基	河奈 正道																								
	久保田 明雄																								
<北区関係職員>	葉山 相也																								
藤野 浩史	丸野 由美子																								
雲出 直子	森岡 謙二																								
倉林 巧	山本 倫行																								
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. これまでの振り返りと第5回検討会の進め方について 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中間報告のまとめ方について (2) 中間報告における総合評価について 4. その他 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 委員名簿 ・資料本編 ・別紙1 中間報告のまとめ(イメージ) ・別紙2 個別ミッションの評価 ・別紙3 総合評価(まとめ) </div>																								
1. 開会																									
事務局	<p>皆さま、おはようございます。ただ今から、第5回赤羽周辺地区まちづくり基本計画策定検討会を開会します。</p> <p>私、この策定検討委員会の事務局を務めさせていただきます、まちづくり部拠点まちづくり担当部長、小野村と申します。この4月に区役所のほうで組織改正がございまして、3月まではまちづくり部のまちづくり推進課がこの事務局を所管しておりましたが、今回、王子駅、東十条駅、十条駅、そして赤羽駅のまちづくり全体を所管する形で拠点まちづくり担当部というものができました。その中で今回の赤羽の検討も進めさせていただ</p>																								

	<p>きます。今回からわれわれが事務局を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願 いいたします。</p> <p>私事になりますが、私、3月までは教育委員会事務局の教育振興部長という立場でこの 検討会にも参加させていただいたところでございます。この4月からは事務局の立場で 参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今日でございますが、この検討会、本日この後に予定してございます中間報告に 向けまして大切な議論の場となる予定でございます。皆さま方には何とぞどうぞよろし くお願いいたします。</p> <p>まず初めに、新年度となりましたので人事異動によりまして委員の変更がございます。 ご紹介をさせていただきます。</p> <p>まず、昨年度まで委員としてご出席いただきました北区商店街連合会の尾花委員でご ざいますが、この度、退任されることになりました。ご報告させていただきます。</p> <p>また、新たな委員でございます。まず地元関係諸団体の委員でございますが、日笠山葵 委員。東洋大学大学院ライフデザイン学研究科の学生でございます。どうぞよろしくお願 いいたします。</p>
委員	よろしくお願いします。
事務局	続きまして関連事業者でございます。東京消防庁赤羽消防署予防課、大森正基委員でご ざいます。
委員	赤羽消防署の予防課長の大森でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	続きまして北区行政関係者でございます。まず、雲出直子地域振興部長でございます。
委員	地域振興部長、雲出でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	続きまして、倉林巧教育振興部長でございます。
委員	教育振興部長、倉林でございます。よろしくお願いいたします。
事務局	なお、委員のほうで本日、警視庁赤羽警察署の橋本委員はご欠席と聞いてございます。 続きまして事務局職員を、ご紹介させていただきます。星野光一まちづくり部副参事、 拠点整備担当でございます。
事務局	星野でございます。引き続きよろしくお願いいたします。
事務局	もう1名、佐々木暁拠点まちづくり担当課長が出席する予定でしたが、本日、欠席させ ていただきます。
	<p>私、冒頭申し上げましたように、拠点まちづくり担当部長、小野村と申します。どうぞ よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは会議に入らせていただきます。これ以降の進行につきましては村山会長、どう ぞよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>承知しました。皆さん、おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。</p> <p>本検討会では重点区域の地縁者の皆さんがこれまで市街地再開発事業の事業化に向け て検討する中で、その重点区域とそれからもう少し広いエリアについて、まちづくり計画 を検討し始めております。これまでのところ、まずはこのまちづくり基本計画の重点区域 の市街地再整備の在り方について、考えられる7つのシナリオを作成して、3つのミッシ ョンの下、多角的な視点からそれらを比較評価して、そして今後検討するシナリオを絞り 込んでいく作業をしております。</p>

	<p>本日の議論は、そのプロセスの中でもシナリオを絞り込んでいくというところですので、最も重要な局面かと思っておりますので、慎重に審議をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、傍聴される方へお願いがございます。傍聴に当たっては、傍聴席上へ配布している検討会資料の記載事項に留意して傍聴していただきますようお願いいたします。</p>
<p>2. これまでの振り返りと第5回検討会の進め方について</p>	
<p>会長</p>	<p>それでは、次第に沿って進行していきたいと思っております。次第の2、これまでの振り返りと第5回検討会の進め方について、まずは事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは事務局より説明をさせていただきます。説明に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご確認いただきまして、まず式次第がございます。次に資料1ということで委員名簿が付いてございます。その後に、資料本編、別紙1から3が続きます。別紙1が中間報告のまとめ（イメージ）。別紙2が枝番で2-1、2-2、2-3ということで3枚になっております。最後に別紙3ということで、委員の皆さまにはやや大きい資料をお配りをさせていただいているかと思っております。別紙3が総合評価のまとめになります。</p> <p>それでは、まず議事の2番目になりますけれども、これまでの振り返りと第5回検討会の進め方についてご説明をさせていただきます。資料本編の2ページをお開きいただけますでしょうか。こちらでは前回、第4回検討会でのご意見を幾つかまとめさせていただいております。少しご紹介をさせていただきます。</p> <p>最初に、「昨年12月に赤羽で火災があり、身をもって危機感を感じた。赤羽の開発について未来や将来を夢見て検討を行うことも大事だが、いつ起こるか分からない火災や地震にスピード感をもって対応することも大事なのではないか」といったご意見。</p> <p>次に、「22世紀を踏まえて子供たちにより充実した教育環境を与えられるならば、小学校は移転を前提で話を進めたほうがスムーズではないか。ただし、ステークホルダーである在校生・OB・地域の方々の合意形成が前提となるが」といったご意見。</p> <p>次に、「子供たちは、今、広い校庭で遊べる環境にある。再開発により建物配置や形状を工夫することでその環境を損なうことのないように整えたいと思う」といったご意見。</p> <p>次に、「子供たちに迷惑をかけないという意味でも、他の場に小学校をつくって移転してもらうのがベストだと思う。本当は移転してほしいが、移転場所がないということだと、他の選択肢も考えていかなければいけない」といったご意見。</p> <p>最後になりますが、「これだけ大規模な小学校などの複合化の事例は現状としては少ないが、今後全国では出てくるだろう。風や日照などの悪い面もあるが、建築的な新しい技術などを取り入れられる可能性も考えていければよいと思う」といったご意見を頂きました。</p> <p>続いて3ページをお開きください。こちらのほうで本日の検討会の進め方についてご説明をさせていただきます。前回の検討会では、ミッション2「小学校の教育環境の確保・充実」ということについて評価内容を確認し、ミッション3「公共公益施設の効果的効率的な更新策の検討」について評価の視点と評価内容を確認させていただきました。</p> <p>本日の検討会では、最初に中間報告のまとめ方のイメージを確認したいと思います。新聞形式にすることを想定していますが、そのイメージを皆さまと共有できればと考えています。</p>

	<p>次に、これまで進めてきたミッション1～3について総合的な評価を行います。右の表をご覧ください。これまで緑色の評価の視点ごとに定性的な評価を進めてきましたが、今回はこれまでの検討を踏まえまして、ミッション1、2、3それぞれの全体評価と最終的な総合評価を行います。表の中で、赤い字にしている部分がありますが、こちらが今回対象とさせていただく内容となります。最後に、総合評価の内容を踏まえて今後の検討の方向性を確認したいと考えています。</p> <p>これまでの振り返りと検討会の進め方については以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。ただ今説明のありました内容について、ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に3番の議事となります。大きく2つに分かれております。まず(1)の中間報告のまとめ方について、事務局からお願いいたします。説明していただいた後に、資料に関する不明点などについて質疑応答の時間を設けます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>3. 議事(1) 中間報告のまとめ方について</p>	
<p>事務局</p>	<p>それでは、議事の(1) 中間報告のまとめ方について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>中間報告につきましては、新聞形式で主な内容をまとめることを想定しています。資料本編の4ページから6ページのほうにも紙面の構成や使用する素材を掲載しておりますが、最終的な形として新聞形式にしたものをご用意しておりますので、別紙1でご説明をさせていただきます。</p> <p>実際はA2判、「北区ニュース」と同じ大きさを整理をしたいと思っておりますが、本日はサンプルとしてA3判で作成をしております。実際はこの倍の大きさを作成するというご様子をご覧ください。別紙1につきましては、現時点のイメージでございますので、今後体裁や文言等については変更する可能性があることをご承知おきください。</p> <p>中間報告と大きく左上に記載しているページが表面になります。大きく上の段と下の段に分かれておりまして、まず上半分ですが、左側にまちづくり基本計画策定の背景、そして、赤羽駅東口周辺地区の現状と課題。右側にまちづくり基本計画策定の目的、そして、まちづくり基本計画の検討範囲を掲載しております。</p> <p>左上の背景については、住民発意の再開発事業の動きがある中でまちづくり基本計画の策定を進めているという導入部分になります。その下の現状と課題につきましては、その後のミッションにつながる地域の課題の一部を挙げさせていただきました。例えば1つ目の箱の中では、まちづくり面の中で防災面では老朽建築物が数多く密集して深刻な課題を抱えていること、2つ目の箱では小学校の教育環境面ということで、老朽化に対応した更新や再開発事業による影響を考慮した教育環境の確保が必要であるということなどを記載しています。</p> <p>次に、右側の目的と対象範囲です。目的については赤い点線の中の3つの視点を踏まえまして、都市計画マスタープラン2020の実現を図るため赤羽駅周辺の将来像を明らかにし、具体的な土地利用や施設整備の方向性等をまとめるのがまちづくり基本計画であるということを説明しております。</p> <p>また、その下の対象範囲ですが、重点区域と周辺区域を含むエリアとしておりまして、重点区域は、3つの再開発事業地区と、これらの地区と関連性が非常に高い赤羽小学校を含む区域であること、周辺区域は、重点区域の事業からの影響や波及効果を期待する区域</p>

	<p>であることを説明させていただいております。</p> <p>続いて、下半分の内容について説明します。下半分では、今回の中間報告につながる、これまで皆さまと検討してきた過程を紹介させていただいております。左側の欄、1つ目のオレンジ色の箱の中になりますが、まず地域が抱えている現状の問題点を洗い出して、まちづくりの課題を解決するためのミッション、つまり、取り組むべき事項を整理したことを説明しております。</p> <p>その下に続いてミッションの構成を紹介しております。検討の中で柱となるミッションの下に具体的な個別ミッションを立てておりますので、その構成を説明しているものでございます。例えば、1つ目の柱である取り組むべきまちづくりの課題というミッションの下には、防災や交通といったテーマを掲げた上で、都市基盤の強靱（きょうじん）化や、円滑な交通基盤の形成といった個別ミッションを立てさせていただきました。</p> <p>次に、2つ目のオレンジ色の箱に進みます。ここでは1点目として、まちづくり基本計画の策定に当たって、重点区域のまちづくりの方向性というのが重要な要素になるということで、中間報告までは重点区域の検討を先行して進めてきたこと。また、2点目として、重点区域のまちづくりについてあらゆる視点から望ましい土地利用を検討するため、考えられるさまざまなパターンを「まちづくりのシナリオ」として整理したことを説明しております。その下に、検討会の中で設定したシナリオ1から5までをご紹介します。</p> <p>最後に3つ目のオレンジ色の箱になりますけれども、この中では個別ミッションについて評価の視点を設定し、まちづくりのシナリオごとに評価を行ってきたこと。そして、今般、評価を点数化し総合評価を行って、その成果を中間報告として報告するということを説明しております。右側の欄には、検討したミッションの一覧を掲載させていただきました。柱となるミッション、その下に立てられた個別ミッション、個別ミッションの実現性を評価するための評価の視点などを記載してございます。</p> <p>そして裏面になりますけれども、裏面にはこれまでの検討の成果として、各ミッションの全体評価および総合評価（総括表）を掲載しております。内容についてはこの後、議題2で議論いただきますので、議題1ではまとめの表を掲載することについてのみ、ご紹介させていただきます。</p> <p>議題1につきまして、事務局からの説明は以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございます。それでは今のご説明に関して質問を受け付けたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>全体としてはよくコンパクトにまとまっているとは思いますが、最近勉強会でこの図面を立体化したものを大学院生の方が作られまして、それを見ました。そうすると、この平面図で見た内容と実際の立体的になったものを比べると、全然迫力が違う。区域内にこのようなものが建つのかということがよく分かる。</p> <p>そういう意味で、この裏面に書いてある平面図を立体的なものに差し替えるか、または立体的なものを追加するか、していただかないと、これを議論してない方々が見た時、「何だかよく分からない」と思いますので、もしそこに建物が建ったら、こんな雰囲気になるということを示すためにも、区民に分かりやすく説明するためにも、立体的な図面を入れていただきたいと思います。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。事務局から、今のご意見について何かありますでしょうか。</p>

	か。
事務局	<p>立体化しないとなかなかイメージが伝わらないということで、この点は事務局のほうでも感じているところはございます。現状、まだ前提条件や計画が定まっていない中で、平面で説明しておりますが、これから先、中間報告以降の検討に当たっては、少し立体的なイメージなども検討委員の皆さまに、ご紹介させていただきながら進めさせていただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	これ（今回の中間報告）にも反映はされますか。
事務局	<p>補足させていただきます。今回、シナリオ1から5-③までの中で、皆さま方にもご協力いただきまして、第1地区、第2地区、第3地区をそれぞれ個別に建て替えた場合どうなるか。第2地区、第3地区が統合されて学校と一体で建て替えた場合どうなるかといったシナリオが書かれている状況でございます。</p> <p>それぞれによって建て方も当然変わってくるというのがわれわれ事務局の認識でございますので、今回の結果を踏まえて次回以降は具体的な建て方のイメージを当然に出さないと議論が進まないだろうということではあります。現時点では建て方については、先ほどご紹介がありました大学院生の方々が、描いていただいたイメージがあるということではございますが、それも一つの考え方として、今後、われわれも同じようなことをやっていく必要はありますけれども、今回の中間報告ではそこまでは描かないという考え方でございます。</p>
委員	<p>そうすると、区としては分かりやすい中間報告は出せないということになりませんか。私が申し上げているのは、実際に立体的な図面にするとよく分かるということです。そのことを、この中間報告の最初に丁寧に出す必要があるのではないかと考えています。下のほうに、平面図が1つありますし、これはそのまま生かして、裏面の平面図は立体的なものに差し替えるといいのではないのでしょうか。</p> <p>正確な何階建てのものができかどうかは別にしても、高層のものを建てる予定にはなっておられるんでしょうから、そのことを表現されればいいかと思います。分かりやすいものを区民の皆さんに提供するということが一番大切だと思います。</p>
会長	<p>ご意見ありがとうございます。私もちょっとこれに関して意見がございます。結論的には、私は原案のまま2次元で示すべきだと思います。</p> <p>というのは、3次元のイメージは建築計画や、敷地計画を決めないと作れないはずで。ただ、まだわれわれが議論している内容は、それ以前の問題で、どういう区域で再開発しようかというもっと初歩的な部分ですので、この時点ではまだ3次元のものは描けないと思います。</p> <p>そもそもこの中間報告というのは、この検討会でこれまで検討してきた内容を、いったん取りまとめて幅広く区民の皆さまにお示しし、それに関してご意見を頂いたり、場合によっては区民から代案が出てくるかもしれませんので、そういう議論を幅広く開くための中間報告です。少なくとも、これまでこの検討会で合意されていない内容については出せないということです。その3次元の図面に関してはここで議論していませんので、出せないという結論かと思います。</p> <p>ただ、おっしゃるとおり3次元のイメージのほうがさまざまな開発のインパクトとかが分かりやすいので、その点については、これから検討していかなければと思いますが、1つの3次元の図を出すということは、その建築計画、敷地計画についてこの検討会で合</p>

	意したということになります、それはしていないので出せないというのが私の考え方です。
委員	了解しました。
会長	他にご質問はいかがでしょうか。それでは次に進めたいと思います。
3. 議事（2）中間報告における総合評価について	
会長	<p>それでは、(2) の中間報告における総合評価についてです。委員に事前に郵送をさせていただいた中間報告における総合評価の資料について、この後事務局から説明をお願いしたいと思います。</p> <p>ここでは、まず総合評価案の点数と、A、B、C という評価について、質問や異議があればご発言いただきたいと思います。まずは、その分からない部分をクリアにした上で、この検討会として総合評価の数字や A、B、C の評価を確定したいと思います。その上で、お 1 人ずつ今後さらに検討をすべきシナリオについてご意見を伺いたいと思います。</p> <p>つまり、最終的にここではなるべくシナリオを絞り込みたいわけですが、まず点数と A、B、C の評価について合意していないと絞り込みの議論が混乱しますので、事務局に作成していただいた評価の数字と A、B、C がそれでよいかどうかという確認をし、確定させます。その後、この結果を見た時に、これからさらにどのシナリオについて検討を進めるべきかについて、1 人ずつご意見を伺いたいというような形となります。このような進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>どうぞ。</p>
委員	進め方についての意見ですが、この評価の方法について、点数付けと、ポイント付け、それから A、B、C、総括。これのルールがわかりづらいです。
会長	それはこれから説明します。まず説明をしていただいて、それについて質問を受け付けます。その後、点数と評価を確定して、1 人ずつ意見を頂きます。よろしいでしょうか。
委員	この検討会ですが、そもそもこうして評価を付けて、点数を付けていき、採点によってシナリオを絞り込んでいくというお話を、当初、そういった内容をわれわれ一切聞いていません。「点数を付けて採点していく」ということは、今というか、この点数を付け始めてから聞いたことですし、その上で点数の高い順に、低いほうは削除していくといった方向性もはっきりとは聞いていません。現状の意見として言わせていただきます。
会長	それでは、今のご意見に対して事務局。
事務局	<p>ありがとうございます。これまでの説明の中では、このミッションそれぞれの課題について、皆さま方にも問題点等を議論いただいたと思ってございます。その上で、今回、点数を付けさせていただいて評価をさせていただいていますが、低いほうを落とす・落とさないにつきましても、皆さま方に考えていただくという考え方でございます。今日はその辺りを説明させていただいた上で、そのやり方がいいのかどうかも含めてご意見を頂くことになると思ってございます。</p> <p>ですので、この後説明を聞いていただきまして、またご意見等あればお願いしたいと思ってございます。以上です。</p>
会長	他にご質問いかがでしょうか。それでは、事務局から説明をお願いします。
事務局	それでは議事の (2) 中間報告における総合評価について、ご説明させていただきます。

資料本編の 8 ページをお開きください。後ほど別紙 2 と別紙 3 で説明させていただきますが、まず資料本編で総合的な評価をどのようにつけたのかということについて説明させていただきます。

8 ページに全体の行程をまとめておりますが、9 ページ以降で段階的に具体例を示しながらご紹介させていただきますので、9 ページからご説明をさせていただきます。

(9 ページ) まず手順の①といたしまして、これまで個別ミッションについて定性的な評価を進めてきましたが、これを 6 段階で評価をいたしました。

表の中の左上に凡例がございますが、「現状と変わらない」ということを▲とした上で、そこから上方向に、より改善が期待できるということになります、「改善できる部分がある」を△、「全ての指標を改善できる」を○、「課題を解決できる」を◎と評価しました。一方で、▲から下方向になります、「現状より悪くなる」場合を×、「許容できない」場合を××ということで評価いたしました。

次に手順の②といたしまして、先ほどの記号を点数化しまして、これを合計することでテーマごとの点数を算出しました。点数につきましては凡例にございますとおり、▲を 0 点とし、そこから上方向に 1 点ずつ高い点数を配点する、下方向に 1 点ずつ低い点数を配点するという設定でございます。

表については、ミッション 1 で、シナリオ 1、3、5 を切り出していますが、シナリオ 3 を例に説明をしたいと思えます。シナリオ 3 では、①の重点区域内の都市基盤の強靱化というミッションについて◎、②について○、③についても○ということで評価をして、凡例の点数に当てはめるとそれぞれ 3 点、2 点、2 点ということになります。(1) が個別ミッションである①から③をくくったテーマになりますが、テーマの点数が 3 点、2 点、2 点の合計点である 7 点と評価しております。

他のシナリオも同様に、まず個別ミッションの評価を行って、これを点数化し、その合計によってテーマの点数を算出するという作業を繰り返し行っているということでございます。

(10 ページ) 手順③として、各テーマの点数を合計して、満点に対する得点率から、各ミッションの全体評価を行いました。下の表で具体的に見ていきます。シナリオ 3 をご覧いただきますと、(1) のテーマには先ほど算出した 7 点という点数が入っています。他のテーマについても今の (1) と同様の手法で点数化し、黄色い網掛けのミッション 1 の点数は、各テーマの点数を合計した 28 点になります。

ミッション 1 の個別ミッションは全体で 16 項目ございまして、全て◎であったということになりますと最大点数は 3 点なので、3 点×16 項目の 48 点になります。ミッション 1 の所に「48 分の」と書いてありますが、それは最大点数を示しております。シナリオ 3 については 48 点中 28 点の得点であったということになります。

ここで凡例をご覧ください。各ミッションの評価は満点中何割取れたかという得点率で評価を行っております。満点に対して 6 割以上の点数が取れていれば合格というイメージで A、3 割以上 6 割未満であれば B、3 割未満の場合には C という評価としました。

あらためて黄色い網掛けをご覧くださいますと、シナリオ 3 は 48 点中 28 点の得点ですので、得点率は 58.3%、評価としては B ということになります。

(11 ページ) 最後に手順④として、各ミッションの点数を合計し、満点に対する得点率から最終的な総合評価を行いました。同様にシナリオ 3 で確認していきたいと思いますが、

評価の方法は先ほどの手順 3 と同じになります。各個別ミッションは全体で 30 項目ございまして、全て◎だった場合の最大点数は 3 点×30 項目で 90 点ということになります。この 90 点の中で何点取れたかということで、シナリオ 3 の点数はミッション 1 で 28 点、ミッション 2 で 9 点、ミッション 3 で 6 点とありますので、これらを合計した 43 点ということになります。

総合評価は左上の凡例のとおり、先ほどの 6 割以上 3 割未満というところで区切って評価をしております。ピンク色の欄をご覧くださいますと、シナリオ 3 は 90 点中 43 点の得点ということで得点率が 48%、最終的な総合評価としては B という評価になるということでございます。ここまで評価の仕方についてご説明をさせていただきました。

(12 ページ) こちらはミッション 2 と 3 におけるシナリオ 5 の③、小学校から移転する場合の評価について説明をさせていただきます。

前回の検討会では、シナリオ 5 の③につきましては他のシナリオの評価と比較衡量する必要があるということで、青字で記載しておりますとおり、学校の移転先が重点区域外で、かつ、学区域内もしくは学区域に隣接する付近に確保できた場合を想定して評価をしております。その検討会の中で委員の方から、シナリオ 5 の③については学区域外に移転することとなる場合には他の学区域も巻き込んだ議論が必要になるとの発言もございまして、あらためて庁内の関係部課で再検討を行ったところ、赤字の部分になりますが、現在の赤羽小学校の通学区域内には赤羽小学校の改築に適した移転先となる適地が見つからず、移転先が見つからない状況のままミッション 2 および 3 の評価を行うことは困難であり、現時点では評価対象外とすることが妥当との判断に至ったため、中間報告に当たりミッション 2 および 3 は評価対象外といたしました。

資料本編の説明は以上となります。続いて別紙 2 と別紙 3 で評価の内容を見ていきたいと思っております。

別紙 2 が個別ミッションの評価を行った資料、別紙 3 がそれらをまとめて総合評価を行った資料です。一部ピックアップさせていただいて、どのように評価しているかということをご説明させていただきます。

まず別紙 2-1 です。こちらがミッション 1 の評価ということになります。先ほど資料本編でも例示をさせていただきましたが、(1) の震災・水害に強い市街地の形成というところでは、①から③の 3 つの個別ミッションとしております。①の重点区域内の都市基盤の強靱化につきましては、2 列目にある迅速な不燃化・耐震化と、不燃領域率の向上、延焼遮断機能の形成という視点で評価を行っております。

シナリオ 1 と 2 については、不燃化・耐震化には時間がかかるとして▲。シナリオ 3 以降では整備の単位は異なりますが、早期の不燃化・耐震化が期待でき、面的に不燃領域率の向上、延焼遮断機能の形成が可能ということで◎と評価をしております。

また、②の周辺区域を含めた災害対応力の向上では、道路拡幅・新設による災害対応力の向上や、空地整備による災害対応力の向上という視点で評価を行っております。評価の結果としては、シナリオ 1、2 では災害対応力の向上は困難として▲。シナリオ 3 以降では道路拡幅やオープンスペースの確保による災害対応力の向上が期待できるということで○という評価をしております。

さらにシナリオ 5 については、道路の新設や、よりまとまったオープンスペースの確保によって特に大きな効果が期待できるということで◎という評価をしております。こ

	<p>のような形で評価を繰り返していきます。</p> <p>次に、ミッション2についての評価を見ていきたいと思っておりますので、別紙2-2をご覧ください。教育環境の確保・充実についてのミッションの評価となります。(1)をご覧くださいただければと思っておりますが、(1) 周辺開発による影響の低減の1つ目のミッションである①安全な教育環境の確保につきましては、シナリオ1と2は現在の教育環境が変わらないということで▲。シナリオ3から5の②では、防災上課題を抱える地区に囲まれる状況が解消されるほか、交通安全面での改善が期待できるということで○という評価をしております。また、5の③につきましては、先ほど資料本編で触れさせていただいたとおり、学区域内に移転先となる適地がないため評価対象外としてございます。</p> <p>もう一つ、その下の②日照・風環境の確保の欄をご覧ください。まずこちらではオレンジ色の網掛けにございますとおり、第一地区に高層棟が建つ状態を現状ということで評価をさせていただきました。この場合、シナリオ1と2が現状と変わらないとして▲。シナリオ3については、冬至の時期にはほぼ一日中校庭の日照が得られない状況となり、風環境も特に大きな影響を受けることが懸念されるということで、唯一になりますが、××という評価をさせていただいております。</p> <p>また、シナリオ4以降では、施設計画に自由度が生まれて、日影や風環境の影響を低減することが期待できますが、一定の影響が生じることは避けられないということで×という評価をしております。5の③については先ほどと同様の整理をしております。</p> <p>このような形で個別ミッションごとに評価を行って、テーマごとの点数を算出し、別紙3にまとめているところでございます。</p> <p>それでは、別紙3をご覧ください。黄色や緑、青の網掛けのあるミッションの評価は、先ほどご説明したように満点に対する得点率で評価をしております。黄色のミッション1は左のシナリオ1から5の③に向けて、C、C、B、A、A、A、Aという評価になります。</p> <p>緑色のミッション2では、シナリオ1から5の②の全てでBという評価になります。このうちシナリオ3に米印がつけられておりますが、先ほどご説明したとおり、日照あるいは風環境の部分で許容できないという××の評価をしているということから、大きな懸念がある課題が含まれるということで米印として表記をさせていただきました。5の③については学区域内に移転先となる適地がないため、評価対象外としております。</p> <p>最後の青色のミッション3については、左のシナリオ1から5の②に向けて、B、B、B、B、A、Aという評価になっております。5の③については、ミッション2と同様の整理でございます。</p> <p>そしてピンク色の総合評価になりますが、こちらも全体の得点率ということで評価をしております。左のシナリオ1から5の③に向けて、C、C、B、B、A、A、Bという評価になっております。アルファベットの横に各シナリオの点数と得点率を記載しております。シナリオ5の③につきましても、評価できるミッション1の結果をベースとして評価をさせていただいたものでございます。</p> <p>また、一番下に総括という欄がございますが、本日のこの後の議論を踏まえて、今後の検討の方向性を記載できればと考えているところでございます。事務局からの説明は以上になります。</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございます。それでは、今ご説明のあった資料に関する質問やご意見を受け付けたいと思っております。いかがでしょうか。</p>

委員	<p>率直に申します。今の評価方法については全く納得できません。意見集約ということで、この検討会があると思っていたのですが、○×△、ABCでもって、私が生まれてずっと生活しているこの場所、赤羽の場所を○×△で、点数で、簡単に、かくもこれほど簡単なシンプル化、単純化した形でもって評価をされるっていうのは、正直言ってこの会に出席させていただいて、いたたまれない思いがします。少なくとも始まる前に、こういう評価の方法を取るのであれば、「こういう評価の方向で出しますよ」っていうことを少なくとも言っていたら良かった。そうでなければとても分かりません。○×△でもって人の人生決められたのではかないません。もっと多くの意見があるはずですし、もっと率直ないろんな意見をここの場でもって、それこそ忌憚（きたん）なくみんなでもって話し合いたいなど、そういう思いでもってここに出席させていただいています。これを○×△でもって、点数でもって、「こうです」じゃあ、どう考えても私は納得できません。</p> <p>また、今の説明をずっと受けましたが、出席されている方が、「どこまで理解をできましたか」と一人一人お伺いしたいくらいです。</p> <p>私の率直な感想と、意見です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局、回答はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。今回、このような評価を行うことについて、これまでの検討会の中で議論をしてなかったことについては、ご意見頂いたとおりでと思っています。ただ、この検討会、今後、どういう方向性で基本計画をまとめていくかということになります。再開発を進めたい」と議論をさせていただいている中で、課題となってくるミッションについても議論をしまいいまして、それを、今、評価せざるを得ないという状況になっているというのが事務局の認識でございます。</p> <p>ですので、評価の仕方についてはさまざまご意見があると思いますが、それについてはこれからご意見を頂きたいと思っています。私どもはあくまでも事務局としてこの考え方を提案させていただいている立場でございますので、これについて委員のようなご意見があることはわれわれとしても真摯に受け止めさせていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>少し補足させていただきます。この再開発に対してはいろいろなご意見があることを十分承知しておりますので、考えられる複数のシナリオを提示して、それに対して皆さんが重要だと思う視点から多角的に評価をする。</p> <p>その後、案はだんだん絞り込まないと物事が進みませんので、その中で比較評価をするということについては説明申し上げてきましたし、それはご納得いただいた上でずっと今まで回を重ねてきたと理解しています。ただ、その比較評価の具体的な方法において、点数を付けたりABC評価をするということは十分にご説明してこなかったもので、頂いたご意見はもっともだと思います。</p> <p>一方で、事務局と私の進め方に関する相談の中で、これをどうやって比較評価してこの場においてシナリオを絞り込んでいったらいいかと。その方法について議論した時に、私の思い付く最善の案がこれだったということですが、これに対して異議がある方がいらっしゃるかもしれません。</p>
委員	<p>これは全く納得できません。</p>
会長	<p>そうしますと、この方法ではいけなかったということになります。そうすると、ではどうしたらこの複数のシナリオを評価、意見を集約して前に進むかという具体的な方法論</p>

	<p>が私はこれ以外に思い付きませんでした。</p> <p>ですので、もし委員の皆さんからより良い絞り込みの仕方ご提案いただければ、それについてまた皆さんで議論して、今の方法よりも良ければそちらを採用すべきと思います。</p>
委員	<p>まず初めに、この今回のやり方がとても乱暴だと思いました。というのは、このデータがメールで送られてきたのが連休に入るほんの少し前の時期です。連休は僕らからすると、子供が来たり孫が来たりして遊ぶ時間なものですから、遊んだわけです。そうしたら、連休明けに今度は事務局評価への意見シートというのが送られてきて、これを出せと言われました。そして、今日までで1週間です。しょうがないので、いろいろと書いてきたのですが、とてもやり方が乱暴だということと、もう少し時間を取って、それぞれがこの意見シートに意見を書いて、それを事務局がまとめて、それでこの評価全体をまとめていくっていうことをしないと、これだけだと事務局が勝手に評価したというふうに言わざるを得ないです。</p> <p>それはいろんな議論があったと思いますし、いろんな意見、私も言いました。だから、そういう点で言ったら、この意見シートというのを送ってきたのはどういう意図で送ってきたのか僕は分からないのですが、本当はもうあと1週間ぐらい欲しかったのですが、20ページ近く書いてきました。また、この取り扱いもどういうふうにするのか。僕自身は、この意見シートを事務局が分析をして、評価をしていくということがいいのではないかと思います。</p>
会長	事務局、いかがでしょうか。
事務局	<p>送付させていただいたのは、あくまで事務局案でございまして、本日、検討委員の皆さまからもご意見を頂いて、その評価内容についても確認をしていきたいというところがございます。</p> <p>この場で資料説明して見ていただいても、なかなかご意見をいただくのは難しいと思いましたので、今回、事前に送付するという形を取らせていただきました。期間が短いというところについては大変申し訳ないと思いますが、事務局のほうでも、できるだけ早めに送付しようとしてまいりましたので、その点についてはご理解をいただけるとありがたいと思っております。</p> <p>意見シートについては、事前に資料をご覧いただいて、気付いた点を意見シートに書いていただき、提出していただければ、それを踏まえて、評価の内容が事務局案のままでいいか、それとも変更したほうがいいのかということを検討させていただこうということで作成したところでございます。以上です。</p>
委員	みんなに書いてもらって、それを意見集約するのではないのですか。意見出す人だけが出してそれをまとめるのでは、全体の意見を網羅したことにならないのではないかと。
会長	それは、今日まだ提出されていない、お手元にあると思うのですが。
委員	今のお話ですと、出す人は出してもいいけども、出さない人もいいという言い方がおかしい。全員に出してもらうべきである。もう一つ。この意見を基にしてこの全体の評価を変えるということになると考えれば、第6回の検討会が9月下旬に行われる。また、中間報告の説明会を7月に行う。これ、逆さまになりませんか。7月にまた検討会を開いて、この皆さんが出した意見シートに基づいて事務局がまとめたものを出し、そして委員全体で確認をして、それで中間報告の説明会をやるということにならないと逆さまだと思いました。

会長	<p>今、事務局からの答弁がちょっとおかしかったかなと思ったのですが、私たちの意図としては、事前にこの資料をご覧になっていただいて、気付いた点をその意見シートに書いていただくということでした。まだ提出していただけていないのは、その書かれた内容を今これから審議する場でご発言いただきたいからです。</p> <p>それで、特にこの事務局案に異論がない方は特に意見ありませんということでもいいですし、この評価のこの部分が、例えばこれは2点じゃなくて3点なのではないかという意見があるかもしれませんので、それはここでお聞きして、皆さんで議論して、そのご提案についてそのとおり変更するのが良いのか、あるいは原案のままが妥当なのかという議論をして、それで点数を全体として確定させたいと考えております。</p> <p>ですから、今この場でお手元のシートに基づいて、ご発言いただきたいと思っております。</p>
委員	<p>そういう会長の言われるような認識に皆さんがなってらっしゃるんですか。この意見シートを見て、少しでも書いてらっしゃる方が何人いらっしゃるんですか。</p>
会長	<p>私は今把握していませんが、これから議論の中で書いた方はご発言される予定です。</p>
委員	<p>手を挙げてもらえば分かる、どのくらいの方が書いたか。</p>
会長	<p>書いたかというよりは、まずご覧になって気付いた点を書いたかという、気付いた点特になければ何も書いてないことにはなりますが。</p>
事務局	<p>すみません、事務局のほうからも。事務局の意図としては、今回資料を事前に送らせていただきまして、1週間が長かったか短かったかにつきましてはご意見等あると思ってございますが、私どもとしてはゴールデンウィークの期間中ご覧いただきまして、ご意見があればご意見を書いていただくというためのシートとして用意させていただいたということでございます。</p> <p>シートがないと、逆に皆さんどういふふうにご意見を書いていいのかも分からないということもありませんでしたので、あえてシートを付けさせていただきました。そのシートを基に今日は皆さま方からご意見を頂きまして、今、会長がおっしゃっていただいたように、この点数の付け方も含めて問題点があれば、この場で修正をするなり、議論いただいた上で結論を出していくという考え方でございます。この点数につきましても、私どもあくまでも事務局として考え方を一定程度出さないと議論にならないと考えてございましたので出させていただいたとご理解いただきたいと思っております。</p>
委員	<p>連休中にこれを読めということでしょうか。</p>
事務局	<p>読めということを行っているのではなく、今日の日程が決まっており、これは前回にもご案内させていただいてございました。</p>
委員	<p>ですから、それよりも前にこの文章と意見シートを送ってればいいんじゃないですか。</p>
事務局	<p>ですので、1週間前に送らせていただきました。</p>
委員	<p>連休の直前に資料を送ってきて、意見シートは5月7日に送ってきたのですよ。そして14日に出せと。これは乱暴で、事務局の皆さん方がこれをまとめるのに、何週間かかったか分かりませんが、そうするとすれば私たちも1週間だけじゃなくて、何週間もかけて読んで、そして意見シートをつくるということが普通じゃないのでしょうか。</p>
事務局	<p>期間につきまして、日程的に足らなかったというご意見については真摯に受け止めさせていただきます。</p>

委員	最初はそんなこと言ってなかったのではないか。当然これでいいんだみたいなことをおっしゃっていませんか。
事務局	申し訳ございません。そのように聞こえたのであれば、申し訳ございません。そのような意図はございません。
委員	シナリオの 5 の最後、いわゆる学区域内に移転先の適地がないので、と外れているのですが、これは今日議論して決定するとか、また、もしくは区のほうで外すというふうを考えられてこういうふうにつくったのか。今日それを議論する場としてもいいのでしょうか。
事務局	事務局のほうから答えさせていただきます。前回の第 4 回の時に一部の委員——私のこととでございますけれども——私は教育委員会の立場で学区域内に移転先がない場合には、さまざまな学区域外の方々を巻き込んだ議論が必要になるだろうという発言をさせていただいたところとございます。そういう意見を踏まえて、庁内でもう一度議論をした上で、学区域内に移転先がないのであれば、評価は今の時点ではすべきじゃないだろうという判断に基づき、今回、評価するに当たってはこういう考え方しかないだろうということと、今日はあくまでも事務局の意見、案として出させていただきます。その点につきましても、この後、皆さま方からご意見頂きまして、「やっぱりこれはおかしい」というようなご意見があれば、それは受け止めさせていただきます、この場で整理していただくという考え方になると理解してございます。
会長	他にいかがでしょうか。
委員	私自身は、評価軸をつくって何かを絞っていかなければいけないということは、何かのパターンを選んでいる以上、必要だとは思っています。やり方についてのご意見としては、やっぱり皆さん委員さんから話が挙がっているとおり、受け取ったものに対して課題をやってくれということであれば、先に課題の説明があった上で、それを何か評価して宿題として持ってきたりという説明は必要なのかなと思いました。私自身もメールで頂いたものを読んだ上で、これを自分たちで先に意見を書いてくれと言われても、ある程度説明を受けないと何を指針として、点数ということに対して評価していくのかがわからないところ。そして、本当にそれが ABC 評価だけだろうかという視点の部分のところを、先に議論してから、宿題として出していただくのが良かったのではないかなと思っております。その上で、ある程度考えてきたところもありますが、そこについてはこれからもう一回ご意見するところですね。
会長	そうですね、ありがとうございます。最初はここでこれほどの議論が出てくるとは思っていなかったもので、すぐこの点数の確定について、点数の内容についてご意見を伺って進めていこうかと思っていたのですが、そういうわけにはいなくなってきたので、ここでもしよろしければお 1 人ずつご意見を頂きたいと思えます。聞きたいことは 3 つございます。1 つ目は、この評価の方式。複数のシナリオを作って評価の視点を考えて評価するということろまでは合意されていると思えますが、その後このように点数化して絞り込んでいくという方式について、まず異議があるかどうか。2 つ目は、異議がない場合ですけれども、これをそれぞれの委員の皆さんがゆっくり考えて判断するのに説明が不足している、あるいは、期間が短かったかどうか。

	<p>3つ目が、現時点でこの事務局案をご覧になって、ここの点数のここがおかしいというご意見があれば頂きたいと思っております。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>もし特にご意見がないということであればなしでいいですし、事務局案のこの点数についてこのままでいいといったご意見であればそれをご発言いただければと思います。</p> <p>席順の順番で、お願いしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>1、2、3と今、設問を設定してきましたが、それに対する答えになるかどうか分かりませんが、もう4年にもわたって再開発、まちづくりということを定例会も含め60回以上議論を重ねてきております。</p> <p>その中で、例えばシナリオ5の③、これのミッション2と3が候補地となる適地がないために評価の対象外であるということで、当然採点がされていないわけです。ただ、ミッション1を見ていただくと、5の③っていうのは最高得点をたたき出して評価がAになっています。</p> <p>なぜわれわれもこれほど時間をかけて議論を重ねているかというと、これも度々申し上げていることですが、われわれのまちづくりというのは次世代・次々世代に承継すべきもう本当に魂のこもったまちづくりです。「よくここまでやってくれた」と後の世代に評価をしてもらうために努力を重ねているわけです。</p> <p>ということで言えば、このミッション2と3が空欄のままで評価するのではなく、最大限の努力をするのであれば、困難なことを乗り越えてこそ、次の世代に承継すべきまちができるかと私たちは考えております。そういう意味からも、移転先その他を考えたり、その候補地がどこであったりとか、困難なことは多々あるとは思いますが、それこそ乗り越えて考えていくべき点ではないかと私は考えます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。ここで、このグレーになっている所についてクリアにしておいたほうが良いと思うのですが、今のところは学校の移転先が確定できないので評価ができませんということでグレーになっていますが、事務局の意図としては、この案がまだここに残っているということは、この小学校の移転についてこれからさらに検討を進め、もし行き先についてある程度、目途が立ったらここの評価をするということでしょう。</p> <p>もしそうだとすればその結果この評価は、今、ミッション2、3は0点ですが、ここが格段に良くなるはずで、総合点も変わってきます。これからの中間報告以降の検討でそのような検討を区役所として本気でやっていくかどうかというところが鍵だと思うのですが、その辺お伺いしてよろしいでしょうか。それによってこの見方が変わってくると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。先ほどご説明させていただいた別紙1の中間報告のイメージの下段の表をご覧くださいませでしょうか。</p> <p>この中でご確認いただきたい所。まず、左の部分の真ん中より下、オレンジ色の囲みの2つ目の部分でございます。今回の基本計画の策定に当たって、まず今回議論していただいているのは、重点区域のまちづくりの方向性ということで、中間報告まではこの重点区域の検討を先行しているというところでございます。従いまして、今回、シナリオ5の③の学校の話につきましては、学区域内というところの移転先を考えたのは、今回重点区域</p>

	<p>の所を重点的に考えた時に、そのような考え方を取らしていただいたところです。</p> <p>一方、今、会長からお話ありましたように、今後の議論の中でこの辺り整理ができるのかということにつきましては、今回の検討対象区域はあくまでも周辺区域も含んだ所全体のものでございますので、そこも含めて視野に入れてさまざまな移転先等を考えた上で、今後の検討の中で、適地が見つければ当然評価の対象になってくるということでございます。しかしながら、あくまでも中間報告の時点では、学区域内に移転先がなければ評価できないとさせていただいたところでございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ですので、分かりやすく言うと、仮に個人の考えとしてこのシナリオ 5 の③が良さそうだと思うとしても、今のところ学校の行く先が決まっていないので評価はされていない。けれども、これからその行き先について検討していき、その行き先が決まれば、その敷地においてミッション 2、3 について評価するので、その時は駅のすぐ近くの高密度な場所ではなく、より低密度な場所であればこの評価が格段に良くなるので、今は総合点が 37 点の B 評価になっていますが、これが A に跳ね上がるということですね。そういう可能性もあるということで、その可能性に賭けたい、そこを検討すべきだと思う方は、シナリオ 5 の③を今回の絞り込みの中で残すという判断になるかと思えます。</p> <p>残念ながらまだ行き先が決まっていないので、今すぐにこのグレーの部分の埋めることができないのでちょっと中途半端な書き方になっていますが、行き先も含めてこれから検討すればここの評価が変わってくると思います。それも含め、全体でこれを見ていただければよろしいかと思えます。ありがとうございます。</p> <p>それでは、次の方、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>もちろん○×△で評価するというのはおかしな話なんですけど、何かしらの評価軸があってしかるべきものだと思います。</p> <p>それと、まず小学校の問題ですけれども、現状、移転先、仮の移転先もないということだと、建て替えるに当たり、校庭に仮校舎を造って現在の校舎を壊してそこに造るなりということになると思うのですが、シナリオ 5 の②の再開発ビルと一緒に建てるようになりますと、一体化するというので、工期がそれだけかかることになります。しかし、子供たちをいつまでも仮校舎にさせるといってもいけないと思います。それと、設備などを共用するのか、修繕とか将来的な建て替えの問題も含めて、小学校とマンションが一緒になるのはいかなものかなと思います。当然、日照や風の問題等々もあります。</p> <p>先週、第一地区の市街地再開発組合の説明会がありまして、資料を頂きました。これは第一地区のパースのイメージ図ということでありまして、基本 26 階建てということですがかなり高い建物で、一見圧迫されそうだなという気もします。</p> <p>その上で、先日日曜日、ちょうど十条駅の所を車で通ったのですが、今、十条駅の前、39 階建てのビルが建っておりますけれども、かなり異様な光景だなと思いました。</p> <p>あと、現状、一般的に分譲マンションもかなり値段が上がっており、俗に言うパワーカップル——2 人合わせて 1,500 万以上の年収がある方——がほぼ買われているというような状況で、その中でもそういった方が買う立地というのは全体の約 20% ぐらいで、あとは国内外の投資家や相続税対策でマンションを買って賃貸に出すというような現状のようですので、本当にこれだけの大きなマンションを造って、赤羽に根付いてくれる人たちがどれだけいるのかなというのはちょっと疑問に感じます。</p>

	<p>それと、先ほども申しましたが、日照と風の問題。第一地区の説明会ではそれほど変わらないような説明だったのですが、それが本当なのかという疑問はかなり残りました。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私は先ほども述べたとおり、評価軸に対してはこちらシナリオが幾つかあるものに対して絞っていくっていうことが必要になる中では、点数だったり何かしらの評価軸をつくっていくっていうことには賛成です。</p> <p>ただ、○×△とかって×を付けたりするとそこに対してレッテルを貼っているようなイメージ感があるので、見方は変えてもいいのかなとは思いますが。</p> <p>期間に関しては、今の説明があった上で見るのであれば、1週間でも問題はないのですが、説明がない中で1週間というのはちょっと厳しかったかなと思います。私も読みながらある一定の部分のこの認識の中でちょっと違うかなという所があったので点数を付けてない部分もあります。</p> <p>おかしい点という所に関しましては、景観や都市基盤対象に関しては、文化的なこととか歴史的なことの部分では、観光物件などは、古くなるから良くなるものもあると思います。そういう所に関して、点数がマイナスだったりとか、プラスになっていない所の評価としては、こちらはプラスにしていくべき所もあるかなと思います。逆に、古くなるから現状維持は衰退だという考え方の部分もあると思います。それは震災や水害に強い市街地を形成するかどうかというところで、課題が改善されない、最初のシナリオ1の①の部分だったりとかすると思うのですが、これらについては、古くなっていく一方では、やはり悪くなっていくっていう見方もあると思います。これはもう老朽化というところに関しては書いてはいただいているところだと思いますので、それに関してはマイナスになっていくのかなと思います。</p> <p>その両側面がそれぞれに対して各項目見られているのかっていった時に、なかなかちょっと理解しがたいところがあったかなと思っております。</p> <p>また、重点区域と周辺地区の話が先ほどありましたが、その話を聞くまでは私、前回・前々回で赤羽会館などを視野としたマップも出てきている中で、それらの地区も含めての周辺地区も採点要素なのではと思っていました。</p> <p>今回の時点が重点地域の議論の中での中間の折り返しの視点での評価ですよということであれば、この今、検討しているものの中という部分が期間の折り返しって意味ではあると思うのですが、密度の部分では中間ではない部分であると思います。</p> <p>なので、今ここが議論している場所ってというのがどこのベンチマークの地点なのかっていうのが可視化される必要があるのかなと思っております。私もなんか今話を聞いていながら、だいぶこの中の様子はつかんできているという部分もありながら、この先、じゃあ周辺地区とどこでというのが、議論がどうやって展開されていくのかが、今の地点というのが、少し分からないなと思いました。</p> <p>なので、前回の話で、周辺環境が良くなってきた半面、高層化されると開発に合わせてのインフラ強化が必要なのか、それとも、インフラに合わせての開発の抑制が必要なのかっていう話があったと思うのですが、前回の話では開発に合わせてインフラを増強していきますよという事務局からの返答があったと私のメモにはあります。なんかその辺りが、じゃあ全体的に見た時に本当にそうなるのか。</p>

	<p>他の北区内のエリアでは、なでしこ小の辺りは、ありがたいことに生徒が多くなってしまって、結局教室数が足りないから仮校舎を建てなければいけない状況になっていたりということが発生している中で、赤羽小が今後どうなっていくかというのが、実際に今この表だけでは読み取れない部分があるのかなと思っております。以上です。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。重要なご指摘頂いたと思います。それでは、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>私は今回の参加が初めてなので、もしかしたら既に出ている話かもしれないのですが、まず、この評価を見た時に、全ての課題が平等に評価をされていることに少し違和感を抱きました。わざわざミッション 2 で取り組むべき課題とは別に、教育のことを言うるにもかかわらず、点数が低かったり、マイナス、×のものが付いてしまっていたりするのはどうなのかなというところ。</p> <p>あとミッション 1 の (3) と (4) が内容的に近かったりしているのと、(5) に関しては必須、今すぐ解決すべき課題ではないのかなっていうところがあって。優先順位を付けて課題について評価するっていうことも必要ではないかと感じました。</p> <p>また、期間については、やはり説明を聞いて、ここでいろんな人の意見を聞いてから書きたかったかなっていうところはあります。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>こちらの委員の中には赤羽小学校を卒業された方が多いかと思えますけれども、私、先日、赤羽小学校を卒業して今年高校 1 年生になった方とお会いした時に、こういうふうに言われました。「150 年前からあの地域、最初からあった赤羽小学校。そのことを、この検討会の意見を聞いていると、今、赤羽小学校、邪魔者扱いにされているんじゃないか、とても悲しい。」と言っておられました。</p> <p>それから評価の方法については、いろいろとあると思いますが、先ほどの方も言われたように○×でなくて、初めから○は何点、×は何点って決まっているわけですから、初めから点数を入れたらいいと思います。また、マイナスの点数っていうのはあまり良くないので、5、4、3、2、1 とかで、それを足し算して評価していくということを考えていただければいいと思います。</p> <p>それから今回の資料については、連休前にメールで来たわけですが、やはり僕たちとしては、ゴールデンウィークは自分のために使いたいと思っていますので、実質は連休明けの 7 日以降となりました。その上で、7 日の日にこの意見シートが届いたわけですが、そういう点で言うと、自分としては検討する時間が短かった。私は自治会の代表ですので、基本的には何かあると自治会長と相談をした上で出すようにしておりますので、自治会長と相談する時間がもう 1 週間ぐらい欲しいと思います。</p> <p>それから意見シートについては、19 項目ありますけれども、よろしいでしょうか。それとも、文書で出せばいいでしょうか。</p>
会長	<p>後で時間があればまたお聞きしたいのですが、今日は、今までのところこのまま決めるわけにはいかないと思いますので、また機会をつくらせてください。</p>
委員	<p>それでは、1 点だけお話ししておきたいと思います。シナリオの 2 について、建てるのが遅くていろいろな問題解決を図るのが難しいというふうに評価されているのですが、シナリオ 2 を基本的に再開発のものだという評価をして、そして再開発に出される助成金をもう少し出していけば、実際にこの 2 棟を造るために 100 億ぐらい出すわけですね</p>

	れども、そこまでいかななくても、助成金が出ればもっと早くこのシナリオ 2 が解決できるのではないかと。そうすれば、赤羽小学校の問題も解決するというところで、それが一番いい方法だというふうに思っております。以上です。
会長	ありがとうございます。具体的なご提案もありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>私、このゴールデンウィーク仕事休まずしていたもので、この評価で点数化されたものをじっくりと見るという時間がそこまでなかったのですが、話を進めていく上では、ある程度こういう点数化とこの評価、A、B、C っていうのを付けて絞っていくのは大事なかなと思います。</p> <p>小学校の PTA という立場からすると、学校側の意見として学校側がどうこうっていう話は多分学校側もできないっていうのは存じておりますし、先日学校側にも北区のほうから説明がありましたので、学校側も承知していることだとは思いますが、周辺地区も含めたことを考えながらいかないと、ちょっと話が進まないかと思えます。そこも十分に注意して考えていきたいなとは思っております。以上です。</p>
会長	どうもありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>赤羽小学校は 150 年前に建て、その時は畑の真ん中にあった建物なのですが、その後、赤羽駅ができ、現在赤羽小学校は一等地になっています。この一等地で学校を存続させる意味があるのか。他に移す必要があるのではないかと。</p> <p>この再開発は駅前じゃないとなかなか成立しません。小学校は他に移転しても環境的に支障はないのではないかと思います。最低でも小学校の中に道路を造るということは、敷地が 3 分の 2、校庭が 3 分の 2 ぐらいに縮小されてしまいます。</p>
会長	どうもありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。
副会長	<p>今、委員長の間い掛けに直接 1 対 1 で答えられないかもしれませんが、今日の議論聞いてきて、中間報告って何だろうという議論が少しやっぱり足りてなかったのかなと思います。最初の時に確かにスケジュールは示されていて、中間報告という時期を迎えて、そこで議論の内容を皆さまに、区民の皆さまと一緒に共有していくというスケジュールを立てたと思います。それに向けてプロセスを経てきて、一つ一つのミッションごとに評価をしてきました。</p> <p>もちろんそれに全部返るといわけにはいかない。しかしながら、今回、さっきの意見書もそうですが、修正を加えていくっていう機会を今回設けていると。繰り返しになりますが、中間報告で何をどこまで出すのかというのが、それをもう一度議論する必要があるのかと思いました。</p> <p>今日絞り込むとかいう話になってくると、これもちょっと議論はしたのですが、やっぱり相対評価が必要になってくると思えます。それが絶対評価だと、やはり絞り込むということに関しては少し足りないのかなと思います。ということで、相対評価に近いこの A、B、C という形になっているとは思っています。</p> <p>しかしながら、中間報告の時に何を指すかということによっては、絶対評価のまま出すということもあり得るのかなということも、今日お話を聞いていて思いました。</p> <p>それは、今日の新聞——先ほどおっしゃっていた新聞の右下ですね——がすごく私は気になっていて、この右下の内容と裏の内容がダブっているわけです。なので、この中に、例えば今日、ご説明いただいた形をベースでいけば、総括表の見方であったり、この</p>

	<p>総括の意味であったり、中間報告の意味であったり、例えば今後の検討の課題とか進め方を、先ほど別の委員の方ほうからもありましたとおり、「今どの位置にいるのか。」そんなことをこの4分の1の紙面を使って説明をすると、今のこの議論の状況というのを共有するというにはより良い情報の提供の仕方なのかなと思いました。</p> <p>また、表を一個一個見ていくと、本当に文言が全く一緒なんですけれども、評価が違う欄があります。何となく分かるのですが、例えばミッション2の緑の所の(2)のシナリオ5の①と②です。確かに基盤形状が近いので評価が近くなっていくのは分かるのですが、ここで一応点差を付けているわけです。</p> <p>こういうことを相対評価しようとする、そこに差異を見いだして表現するということになると思うので、そこまでやったことに対して少し皆さんが拒否反応といいますか、ちょっと違うんじゃないのっていうことを思われたのかなという気もいたします。でも、そこを、ではもっと精緻に根拠をもって全部説明せよって言われると、それは少し難しいと思います。</p> <p>なので、繰り返しになりますが、中間報告で何を出していくのか。中間報告は何なのかということをやっと議論すべきと感じました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>評価方法に関しましては、確かにこのように細かく項目に分類してポイントを付けて評価して総合評価をするということが一般的なので、よろしいと思います。確かに細かい部分とか、こういう総合評価のやり方についての問題点というのも十分承知しているのですが、他にこれを上回る物事を決める方法があるかという、私としては他には提案できないので、この方向で進むのがいい。○×でなくて点数がいいとかそういう部分はあるかと思いますが、大きな流れとしては、やはりこれに代わる方法は見当たらないのではないかと考えています。</p> <p>スケジュールに関しては、私は事前にある程度説明をしていただいているので、期間についてあまり思い至ってはいなかったのですが、確かに大量な情報量ですので、これを理解するには少し短時間であったかなという印象は感じたところであります。</p> <p>個々の点数の意見については、細かい所を見ると確かに違和感を感じる場所はあったのですが、私として、それでは点数を変えたほうがいいのか、評価シートを書くかという事前相談されたこともありますので、特に変えたほうがいいのかという意見はありません。</p> <p>ただ、この評価ではなくて、まとめ方についてに戻りますが、シナリオのそれぞれの設定の所に図があって、さっき表を3次元化するっていう話もあったのですが、逆に具体化し過ぎてしまっている。特に評価をするに当たって、シナリオ5の①と②の違いは、かなりモデル的につくったものを想定して評定をしているので、この部分に関しては何らかの注釈や、この図全体について、「これで決まったものではない」というようなことと、この道路位置や建物の位置、ボリューム、これも一つの検討しなければならない案のうちの一つをモデル的に示しているだけということをしつかりと言わないと、ちょっと危険な感じがしました。</p> <p>私も、この図だけで、もし3次元モデルを作って判断すると、この評定ではないなと思う部分もあります。ただ、可能性として、シナリオ5の②について、実際具体的にやってみるとうまくいかない可能性もありますが、うまくいく可能性もあるので、そのことを考</p>

	<p>えれば、この評点でもいいのかという判断です。確かにこれだけ見ると、この図でこの評定なのかという違和感はあるので、それはかなり注意して、注釈などを付けるべきかと思いました。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>私は意見としては先ほども申しましたように、○×△、あるいはこのように単純に足し算引き算になっていく評価方法が適切かどうかということは疑問を持っています。</p> <p>そして、皆さんも、別の委員の方もおっしゃっていましたが、評価項目の適正さと、それから評価項目の見方、それは日なたと陰があるわけですから、それをどのように評価するか。もっと生活者の立場からの評価の仕方を工夫する方法があったのではないのかと思っています。</p> <p>それから、最後の評価のところで、シナリオ5の③が評価外と出てきますが、この移転先の適地がないと以前、教育関係の委員の方が発言されていました。しかし、適地がないということは、この全ての案に共通のことです。学校に半分校庭を建てて、半分のところで校舎を建てながら教育を進めるということってあり得ません。それから、どのような工事をやっても5年から6年、足掛け6年ぐらいはかかるのではないのでしょうか。あそここの場で教育っていうのは不可能だと思う。なので、もう間違いなく移転はしなければならない。なので、移転先がないという意味では、全ての案、全部移転先はない。そこで、区からの移転先ありませんよといった場合には、近隣地区を含めての問題になるので、単純に赤羽小学校だけの問題じゃないという発言があったということです。なので、この表の中でいきなり評価外と事務局のほうで区の判断といいますか、意向というか意見として評価外と出てくるのは、ちょっと乱暴じゃないのかなと思います。</p> <p>ですので、私が違和感を感じたのは、この表の進め方、点数付け、それから評価外に至るまでの一連の進め方が、もう少し丁寧に進める方法があったのではないのかなと痛感しております。</p> <p>また、皆さんの意識の中でも、校舎の半分でもって工事して、半分で工事を進められると考えていらっしゃる方もいるかもしれないし、あるいは、校舎は2年ぐらいでできると考えていらっしゃる方もいるかもしれません。しかし、多分、私の経験からするとまず5年。それから、近隣であれだけの大工事をするとなれば、まず5年はそこを子供たちがうろろするのが危険な状態になると思います。その中で、適切な移転先をどのように見つけ出すのかというのが、大きな問題だと思います。なおかつ負担もかからない形で。</p> <p>そしてもう一つ考えるのは、学校の伝統や歴史は一体何でもってつながるのか。決して1つではないとは思いますが、やはりそこで育った人であり、そこでの教育であり、人が伝えるものだとは私は思います。そういう意味では、決して場所だけではないと。</p> <p>それからもう一つ。シナリオ2です。これで全てが丸く収まるのであれば、それは素晴らしいことだと思います。しかし、それが客観的に様々な情勢、社会の変化を考えた時に、それは不可能だということはどうなても分かっていると思います。それは私権を制限するわけにはいかないし、そこで生活している人たちの行動を制限するわけにもいかないし。そういう中でもって、環境ありきと思ってその場所だけをやることのできるのならばいいのですが、決して許されないのではないかと私は思っております。</p>
会長	<p>それでは、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>資料を頂いたのが実は私、先週の木曜日です。また、週末商店街のイベントがありまし</p>

	<p>て、実際開けたのが日曜日で、本当に手元に今ある状態でここに来ています。大変申し訳ございません。</p> <p>その中で、今お話を聞いていて、その評価をする中で、もう少し評価が良くしていただけるといい所があるのでお伝えしたいと思います。「まちの魅力を高める公共的空間」ということで、赤羽小学校や赤羽駅前の商店街を含めた赤羽の顔が、ここの評価ではあまり良くされていないように私には見受けられました。そこに住んでいる方を含めて、区内・区外の方が連日多く、赤羽にいらっしゃっていただいたり、ゴールデンウィーク前には、赤羽小学校を起点とした赤羽の馬鹿祭りという大きなお祭りもありまして、かなり公共性があり、本当に魅力あふれる駅前広場だと私は思っております。</p> <p>なので、シナリオ 1、2、3 の辺りで、赤羽小学校の評価も含めてもう少し高い評価をしていただけたらいいかなと思っています。</p> <p>商店街の立場からしては、きれいに整備されてインフラが整うのはもちろんいいとは思いますが、高層マンションが立ち並び、下には高級なスーパーが入り、おしゃれなカフェが入った、そういったまち並みをちょっと想像してしまいます。やはり生まれてずっと商店街におりますので、そういうまち並みを見てきて、もちろん憧れはありますけれども、やはりそれが全くない状態になるというのがちょっと寂しいなというふうに商店街の立場から申し上げたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。</p>
委員	<p>赤羽商店街連合会の代表ということで来ています。先ほどから少し話しているのですが、今、第一街区の再開発はもう説明会が始まって、「ああ、始まるんだな」と実感しております。災害、防災に強いまちづくりを皆さんと共に考えていかなければいけないなというのを痛切に感じています。</p> <p>私も赤羽小学校の卒業生です。たまたま木造時代の赤羽小学校から始まって、鉄筋コンクリートに替わるその過程もずっと赤羽小学校の校舎と一緒にきました。鉄筋に替わる時に、本当に校庭が 3 分の 1 になったり、ほこりが出たり騒音が出たりしました。ただし、子供、イガグリ坊主の私としては、そっちよりも新しい校舎ができて楽しみだなんていうほうが本当に優先で楽しみでした。</p> <p>今回のこういう再開発で一番抜けてしまうのは、児童、子供たちの意見です。子供たちが結局そこでいろんな影響があるのに、そういうことは討論されないで、大人たちが勝手に進めてしまう。やっぱり子供のことをちゃんと考えて、それをテーブルの上に上げて議論していくというのはとても大事だと思います。</p> <p>鉄筋コンクリートになって嬉しいという思いと、イガグリ坊主の私が最近夢の中に出てきて後ろから突つくんですよね、「ちゃんと子供のことを考えてよね」って。それで先ほどちょっと確認したのですが、大人の責任として、他の地区に移しながら、子供にできるだけ影響を与えない、このことがとても大事なんじゃないかなと私は思います。簡単に言葉では言い表せない難しい問題があるのは分かります。しかし、大人は、子供たちが楽しいと思える、そういう教育の場をつくってあげるっていうことが、この計画の中から抜けてしまうといけないと私は思っております。</p> <p>そのため、もしシナリオ 5 の①、②、③の中でやるようなことになっても、ぜひ再開発とともに子供たちに影響しないような方策をぜひやっていただきたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。</p>

会長	ありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>赤羽一丁目第一地区市街地再開発準備組合とありますが、今年の1月末で正式な組合の認可がおりましたので、正式な組合の副理事として出席しております。よろしくお願ひします。</p> <p>評価や中間報告の話ですが、そもそもは、まちづくり協議会である程度案を作って、それをこちらに上げて是非を問うというような進め方、シナリオであったって聞いているのですが、まちづくり協議会のほうのものが否決されたということで、1から5まで、5は3つあるので7個の案を同時並行で議論していくという形になってしまった中で、シナリオを絞るってということは、毎回かなりのボリュームがあって、とても深い話し合っているのができてないと私は思っていたので、シナリオを絞ることは絶対に必要なと思っています。その中で、絞る根拠にしたいというために点数方式にしたのかなって思っているのですが、点数の配点の仕方であったり、そもそもこの今選ばれている課題が、再開発する側に有利な課題が多いかなと、そういう採点になりがちだなというのは最初見て思いました。私は再開発を進めたいと思っているので、すごくいいことだとは思っているのですが。</p> <p>ただ、先ほど齋藤先生がおっしゃったように、中間報告とシナリオを絞るってことを別と考えて、中間報告は中間報告で今までの意見を出す。それで、これから先は、シナリオを絞り込んでもっと深い議論ができるようにしていこうという進め方もいいと思っています。</p> <p>期間に関しては確かに短過ぎるかなと、ボリュームに対してはちょっと短かったかなと思うのですが、ただ、北区さんも頑張ってくれていると思うので、その点に関しては、僕たちも頑張っけて付いていかなきゃいけないなという思いはあります。</p> <p>点数に対する意見も、大まかなところではありません。ただ、さっき述べたように、そもそもの評価軸として1と2に不利なものが多いなっているのがあるのですが、点数自体は、この出されたものに対して特に意見はありません。</p> <p>最後に、僕も、何名かの委員の方もおっしゃっているのですが、ぜひシナリオ5の③を、移転先がないとしても、残してほしいなっています。以上です。</p>
会長	ありがとうございました。それでは、次の方、お願いします。
委員	消防としては特にございません。
会長	ありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>まず点数化することについてですが、この検討会に与えられたミッションは、まちづくり基本計画の策定について議論し、方向性を定めていくことと思っています。そのまちづくり基本計画で何を定めていくのかということについては、この中間報告の最初の所にもありますように、「土地利用や施設整備の方向性を定めていく」ということです。そういった中では、やはり方向性を絞り込んでいくという作業が必要になると思いますし、絞り込んでいく上ではやはり評価といったものも必要になってくると思っています。</p> <p>その上で、その評価について、どういった形がより多くの方の納得性が得られるのかということを見ると、やはり客観的な評価ということになってくると思いますし、その中では絶対評価ではなくて相対的な評価というのが必要になってくると思っています。</p> <p>期間については、これは個々人の受け止めがあると思いますので、意見シートの対応などについては柔軟な対応を事務局にはお願いできればと思っています。</p>

	<p>点数の妥当性については、この間の検討会の中でミッションごとに議論を重ねてきたと思っています。一定のプロセスは経てきたと思っています。その議論の積み上げの上での今回の評価になるかと受け止めていますので、その部分については特に意見はありません。</p> <p>ただ、この5の③の部分については、現時点で想定できる移転先がないということで、その結果として今回このような表記になっていると思いますが、やはり他の委員の方もおっしゃっていましたが、評価できる部分だけを見ると、決して悪くない評価だと受け止めています。なので、移転候補先があったとした場合、このブランクとなっている部分がどういった評価になるのか、その部分はこの検討会の場でも見極めていった上で、最終的な判断をしていったほうがいいのかと思っています。</p> <p>これは、事務局のほうは、今後、移転候補先があるのかないのか、いずれかの段階で示していただけるものかと思っていますけれども、その上で、もしないのであれば、それは選択肢としてなり得ないということになると思いますし、移転候補先があるのだとすれば、その移転候補先を想定した上でこのブランクになっている所の評価や、あるいは、その候補地に焦点を当てたとした場合、この評価項目にはない別の観点からのメリット・デメリットといったことも出てくるかと思っていますので、そういったところをこの検討会の場で示してもらって、それで評価をしていくという作業を経た上で、最終的な判断をしていけばいいのかなと思いました。以上です。</p>
会長	どうもありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>今回初めての参加というところでございますが、私どもの部としては地域・産業の新興、そちらを司る部。また、今日の議論にはあまりありませんでしたけれども、ミッション3の公共施設。その中でも会館等を担う部としていろいろ皆さまのご意見を今聞かせていただいております。</p> <p>魅力といっても10人いれば十人十色、さまざまな捉え方があるという中で、今回この評価の軸を出すというところ、さまざまな視点から分析していただき、皆さまが思うまちの問題点、将来像について情報共有をさせていただいたなと思っています。</p> <p>会館機能につきましては、区全体としてもさまざまな施設が老朽化、また更新の時期を迎えていく中で、赤羽会館という所を捉えながら、この今回のまちづくりを機に、区としてどういう公共施設がふさわしいか、赤羽にとってどういう魅力があるサービスが提供できるかという視点も踏まえながら、今、庁内でも関係課と情報共有しながら検討を進めているところですので、こうした場でも皆さまと議論いただきながら、いい公共施設の在り方等は検討してまいりたいと思いました。以上です。</p>
会長	ありがとうございます。それでは、次の方、お願いします。
委員	<p>私も今回初めての参加にはなりますが、昨年までの所属が企画課という部署でして、区の計画の全体調整を業務として担っていたものですから、この間の経過については十分承知をしております。</p> <p>その上で、教育委員会の立場といたしまして、実際にその学校、特に今回皆さんからいろいろお話のあった5の③、学区域の中に移転先がないという話が非常に大きいと思っています。実際、学区域の外に移転をする場合には、当然学校に通われるお子さん、長い距離を歩くことになる子もいるかもしれないですし、場合によっては大きい道路をまたいで通われる可能性もあります。</p>

	<p>また、当然のことながら、学区域を変えるという話になりますと、別の学校の学区域も変えていくという話になりますので、赤羽小学校の話だけではなくてきます。例えば隣のなでしこ小であったり、都の北学園であったり、そういった所も全部巻き込んでの話になってくるので、まちづくりの話とは別に、学校の在り方そのものについても議論をするための別の会議体として必要になってくるだろうと思っています。</p> <p>北区では、これまで学校の統廃合の協議をやっているんですけども、そこの中でも、学校を閉める、閉めないだけではなくて、通学路の話も非常に時間がかかる話でございまして、統廃合協議はおおむね2～3年、30人ぐらいの規模で学校の先生ですとかPTAの皆さん、地元の町会長の方にも参加いただいて時間をかけて決めていっています。そこの中でもかなり多くのご意見を頂いております。</p> <p>ですので、実際に移転をする場所が、ここだったらあるのではないかと、そして、それがたまたま区域外であったということになった段階で、じゃあ真剣に他の学校も巻き込んで議論をしていくのかどうか。また、そこには一定程度の時間がかかってくるということも大きな課題だなと思っています。</p> <p>小学校の改築等々については、現在の北区の中でも居ながら学校の中に仮校舎を造って改築をしていく事業がございまして。しかし、それは学校の経営の中では非常に大きな負担になっています。教員もそうですし、子供たちにとっても、負担を強いるものではございます。しかし、周辺の状況が整わない場合には居ながらの改築あるいはリノベーションというものをやらせていただいています。また、そうした期間については、やはり4～5年かかってくるということがこれまでの実績としてあるところでございます。</p> <p>評価の方法等々につきましては、私も従前から議事録等々読ませていただいておりますけれども、そうした中ではキーワードとしては出てきていたのかなと思っていますし、点数付けについては教育委員会としてこれが違うんじゃないかというところはございません。</p> <p>ただ、立場としては、やはり5の③については、どうしてもまだ場所もない中で教育環境の良し悪し等々について、評価するのは難しいですということは、庁内の検討会の中では随時申し上げさせていただいたというところでございます。以上でございます。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。そろそろ会議の終了時間が迫っていますが、事務局から一通り皆さんからご意見聞いた後での、コメントがあればお願いしたいのと、それから、その後、私の見解を申し上げたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>皆さま方から貴重なご意見を頂きました。まず、資料の時期、皆さま方にお配りする時期について、ちょっと短いというご意見を頂いたことについては真摯に受け止めていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。</p> <p>本当にご意見頂いたとおりでとは思ってございます。本来であれば事前に説明をした上で、皆さま方にその説明を聞いた上でご意見を頂くという流れというのは当然のことだと思っておりますが、一方で、私ども、先ほど冒頭、この後もまたございまして、中間報告が、この後7月に予定をさせていただいているという状況の中で、今日の5月14日のこの検討会で一定程度の方向性をまとめさせていただきたいという思いで、これまで事務局として作業を進めさせていただいてきました。</p> <p>かなり時間がかかっておりまして、今回こういうことになって皆さま方にもご負担を掛けたことについては申し訳なく思っておりますが、今日その中でもさまざまご意見</p>

	<p>を頂いたと思っています。</p> <p>評価の中身につきましては、個別の評価についてももう少し変えたほうがいいというご指摘を頂いた所もでございます。それはそのとおりだと思っています。私ども、冒頭申し上げましたが、事務局としては、今回こういった評価をさせていただいたところでございますが、地域の方々、地元にお住まいの方々、さまざまな思いはございますというのは、私どもも同じ思いをしております。今後については、今回、こういった形で会長にまとめていただくかというのはこの後、検討することになりますが、この先進んだ中では、やはりこのミッション立て、課題出しについて、もう少し皆さま方の意見を反映させた形で出していった上で、ご議論いただくということは必要になっているというのは、私どもも同じ認識でございます。</p> <p>ですので、まず今回絞り込んだ場合に、どんな建て方とか、どんな課題が出てくるのかというところを、再度、また一からになりますがご議論をしていただいて、その中で最終的な案をまとめていただくというのが、私どもいいと思っていますので、今日頂いた意見も含めて今後の課題整理等に役立てていきたいと思っております。</p> <p>個別のご意見等については、私どものほうからのご回答は控えさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございます。それでは、私のほうで座長としての見解を申し上げたいと思っております。</p> <p>まず、今日、当初は別紙1のような形で中間報告をまとめて、これを幅広い区民にご提示差し上げてご意見を頂く。そのために、説明会の日程案も考えていたわけです。しかし、結論から申しますと、このままでは中間報告はできないということで、大きな見直しが必要だと思いました。</p> <p>まずは、これまでの検討会の議論の内容をなるべく客観的に、機械的に、点数という形でまとめたのは、その途中で恣意的な内容が入らないように、なるべくこれまで議論してきた内容、もともとの評価を大事にしながら、どうにかして複数のシナリオを比較評価しようと思ってつくってきたものです。</p> <p>この作業に当たっては、事務局の区役所の皆さん、それからコンサルタントの皆さん、相当時間をかけてやっけていまして、何度もやり直しをしながらつくっていますので、まずその作業に関しては感謝を申し上げたいと思っております。なかなかこういうところまでやっている区はありませんし、そもそもまちづくり協議会の提案を受けてこの基本計画を作ろうと思っていたのですが、それがうまくいかなかったという背景もあって、非常に複雑な状況の中、この開発に対していろんなご意見がある中でやっていることですので、なかなか参考にできる事案もございませんし、ない中でやったということでありまして、そこは積極的にやっていただいていることはまず感謝したいと思います。</p> <p>今日、シナリオをこれから絞り込んでいくこと、そのためには比較評価をしなければいけないことについては、皆さんご理解をいただいていると思っております。ただし、主に整理するに、5つの点で問題があったかなと思っています。これから申し上げるその5つの点を解消した上でないと、なかなかこれを取りまとめて幅広い区民にご提示することはできないのではないかと考えております。</p> <p>もちろんこの検討会の資料や議事録は全て公開されていますので、今日の資料も公開されますので、今こういうことを議論したということは伝わっていくわけですが、まとも</p>

った形でお示しする必要もあると思います。ただ、それを今の資料ではできないというのが私の考えです。

5点のうちのみず1つ目が、説明不足であるということです。委員の皆さんはこれまで議論に参加しているので一般区民の方よりも情報量をお持ちなわけですけれども、その委員の皆さまが見てもこの内容が非常に難解で、説明が相当ないと理解できない内容になっていると思います。それぞれの不明な点は丁寧に個別にご説明をしながらご理解いただくとしても、こういう細かい資料をこのまま区民に提示することについての是非は検討すべきだと思います。

それから、2つ目が時間不足ですね。この今日の資料を見ていただく期間が実質1週間くらいしかなかった。そのため、お仕事等のご事情により見る時間がなかった方もおられます。もっと時間をかけてわれわれ委員としてもこの内容を見るべきだと思いましたが、その問題があります。

それから、3つ目が評価方法ですね。このように一通り今までの議論をまとめると、あらためて全体が見えるわけです。そうすると、評価項目が足りなかったとか、評価項目の中に2つの側面があって、さっきの文化などの項目をどう評価するか。それを、そういう問題が出てくる場合は、その評価項目を2つに細分化しなければいけないかもしれません。

それから、評価項目の重み付けです。機械的に各項目1点という、同じ重みでやっていますけれども、そもそもこの地区のまちづくりに関わる皆さんにとってどの項目が重要なのかって、多分優先順位があると思います。その議論をせずに機械的に足し合わせていますので、その評価方法の問題もあると思います。

それから、シナリオ5の③のミッション2、3については、小学校の移転先が定まらないので評価ができないということなのですが、ここの評価をした上で他の案と比べてみないとやはり適切な判断ができないというご意見をたくさん伺いましたし、私もあらためて見てそう思います。

それから、4つ目が案の絞り込みです。この評価の仕方に問題があることを今申し上げたわけですが、その中でも個人の委員の皆さまから、全員ではありませんけれども、このシナリオを支持しますというようなご意見もありましたし、逆に、このシナリオの可能性があるのでないかというご意見も頂きました。

お聞きしていると、その数人の方のご意見だけでもこれは絞り込めないというような印象を受けまして、いろいろな可能性がもっとあるのではないかと思います。特にシナリオ1、2が過小評価されている問題を、複数の委員の方からご意見頂きまして、ここは少し抜本的に見直さなければいけないのかなと思いました。過少評価されているというのは、おそらく評価項目が悪いと思います。そのため、評価項目をニュートラルなものに直していく、あるいは、追加の評価項目を考えるということもこれから必要になるのかと思います。

それから最後、5点目ですが、これは市民参加の部分なのですが、当初事務局としてはここで中間報告を出して、そこでいろんな人から、子どもたちも含めて意見を聞きながら前に進もうと思っていたわけですけれども、そもそもこの評価項目をどうするかとか、重み付けをどうするかとか、それから、それによって個別の項目について評価してるわけですけれども、そのプロセスにもやっぱり市民参加が必要であるという意見もあると思

	<p>ます。</p> <p>これは、どのように具体的にやっていくのか、非常に難しい面があると思いますが、ただ、この委員会のメンバーだけで決めて出せないというご意見がありましたので、中間取りまとめをする前の段階でどのように市民参加をすべきか、ということも課題として残ったと思います。</p> <p>いろいろ問題点を申し上げましたが、限られた時間の中で頑張ったのが今の状況です。それでも今申し上げたような問題がありましたので、だいぶ見直しをして、仕切り直しをして次に進めるべきかと思います。</p> <p>ですので、この中間報告を出すのは延期をして、説明会も当然できませんので、今申し上げた 5 つの点について再度事務局と会長・副会長で整理をして、それで次回の検討会お出しするとともに、本日、時間の都合上、全てのご意見聞けてないと思いますので、今日用意してくださったシートや、この後にもしご意見があれば追加で事務局にお寄せいただいて、次の検討会で仕切り直しを考えてもらうべきかと思います。</p> <p>すみません、事務局に相談せず私の見解を述べていますが、多分それが一番やり方としては的確かなと思いますので、もし皆さんに異論がなければ、そのようにさせていただきたいと思います。</p> <p>私からは以上ですが、もし何かございましたら。</p>
委員	このシナリオの提出は 1 週間後ぐらいでよろしいですか。
会長	事務局、どうでしょう。ちょっと時間をかけなければいけないと思うので。
事務局	今、会長にそのように仕切っていただいて、皆さま方のほうで異論がないということであれば、今日の説明等を聞いた上で、また時間を取って意見書を出していただければと思います。期間につきましては、別途ご連絡させていただきたいと思います。
会長	もし他にご意見等がありましたら。よろしいでしょうか。 これで司会を事務局にお戻しします。
事務局	<p>事務局からの連絡として、最後に本来であれば次の予定ということで中間報告を 7 月の終わりに予定しておりましたので、ご案内をさせていただこうと思っていたのですが、只今のような整理になりましたので、次回の検討会等についてはあらためて会長・副会長と相談した上で、状況が整った段階で、ご案内をさせていただきたいと思います。</p> <p>なお、事務連絡として、これまで検討会の開催通知を郵送させていただいておりましたが、次回からメールアドレスを頂いている方にはメールで送らせていただければと考えております。よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>事務局のほうからは以上です。</p> <p>以上で第 5 回の検討会のほうを終了させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。</p>